

IMとRの素敵な関係

Illness Management and Recovery

NO. 1

IMR実行委員会

R2年3月

IMRついに始動

昨年秋、IMR（疾病管理とリカバリー）が始動しました。当面はデイケアセンター「リカバリー」のプログラムとして開催予定です。今年度はプレIMRを行い、参加者や講師の先生方へのご理解、ご協力、志を共有させていただく事を大切にしたいと思います。

今年4月、本格始動！

IMRとは

I - Illness (日本語訳)
M - Management ⇒ 疾病管理とリカバリー
R - Recovery

IMR = 動機付け面接 + 心理教育 + SST

私たちはこう考えます

『RのためにIMがある』と

心理教育とSSTで構成されているIMR。時に知識や情報の伝達が目的になってしまうことがあります。知識や情報の伝達は手段であり目的ではありません。

「困難を乗り越える技術や現実に向かう力」、
「困難を解決できる自信」、「自己決定、自己選択ができること」、そしてリカバリーに気づき育てていくことが目的です。

IMRのメッセージ 中核的な価値

- 1、希望と楽観主義
- 2、当事者自身が自分の疾患についての専門家である
- 3、個人の選択の自由
- 4、専門職は協働者である
- 5、専門職は当事者への敬意を示す

今回取り上げるのは…



1、希望と楽観主義

- 最も重要な価値観
- 安易な楽観主義ではない

今まで諦める事の多かった当事者自身が、希望を抱き、「なんとかなる。やってみよう！」の精神で今後の人生を歩めるように…

リカバリーできるんだ！と胸を張って生きていけるように…

プレゼンで賛同者を募る

講師の先生方へプレゼンテーションを行いました。ご理解を頂き、プレゼン後の作戦会議にもお付き合い頂きました。

貴重なご意見を頂戴し思いと志を共有させていただきました。このメンバーで行うIMRは「希望」に満ち溢れています。



ご賛同いただける方が増え、リカバリーが身近にある職場を目指します！

ご関心のある方は是非、実行委員までお声かけ下さい！

プレIMRを行いました

9～11月の3ヶ月間、試行的にIMRを行いました。計6回の開催の中で垣内先生や定岡薬剤師には講師として、益田先生や瀬川心理士にも参加頂き、自身のリカバリー目標を考えてみたり、疾病やお薬について学ぶ機会を得ました。



何より印象的だったのが、皆さんのこの笑顔でした☆

実行委員のご紹介

私はこんな人です
①名前 ②座右の銘
③趣味 ④一言ボヤキ

- ①田立 龍之介
- ②照一隅
- ③一人遊び
- ④LDH



- ①森 かおり
- ②初心忘れるべからず
- ③嵐を見ること、野球観戦、陸上コーチ
- ④ポジティブに生活していきたい

- ①千嶋 加奈
- ②笑う門には福来たる
- ③旅行
- ④人生楽しんだもん勝ち



- ①高林 寛和
- ②継続は力なり
- ③仕事
- ④とりあえずやってみませんか

- ①加藤 慎一
- ②自由奔放
- ③料理
- ④人生は旅だ



- ①田島 菜月
- ②足るを知る
- ③間取り図を書くこと
- ④する～（ゆっくりと）

みなさんのご理解とご協力をお願い致します。